

**最高約 20 コマ/秒連写のフルサイズミラーレスカメラ“EOS R6”を発売  
AF の進化と世界最高 8.0 段の手ブレ補正により快適な撮影を実現**

キヤノンは、フラッグシップモデル「EOS-1D X Mark III」(2020年2月発売)を基にした有効画素数約 2140 万画素<sup>※1</sup>フルサイズ CMOS センサーと新映像エンジン「DIGIC X」を搭載し、高速連写や高速・高精度な AF などの性能と機動性を兼ね備えた「EOS R システム」の次世代フルサイズミラーレスカメラ“EOS R6”を 2020年8月下旬に発売します。



EOS R6  
\* RF24-105mm F4-7.1 IS STM 装着時

“EOS R6”は、フラッグシップモデルに匹敵する高速連写や高感度撮影などの性能を小型・軽量ボディに凝縮したミラーレスカメラです。高速連写、高速・高精度な AF、手ブレ補正などの性能とミラーレスカメラならではの機動性を生かし、スポーツや野鳥、鉄道、風景など幅広いシーンに対応します。

**■ フラッグシップモデルを基にした CMOS センサーと新映像エンジンによる高性能**

「EOS-1D X Mark III」搭載のセンサーを基にカスタマイズしたフルサイズ CMOS センサーと新映像エンジンにより、電子シャッターによる撮影時は最高約 20 コマ/秒、メカシャッター/電子先幕による撮影時は最高約 12 コマ/秒の高速連写<sup>※2</sup>を実現しています。さらに、静止画撮影時に常用で最高 ISO 102400 の高感度撮影が可能です。また、4K/60P の動画撮影<sup>※3</sup>を実現し、臨場感のある映像表現を楽しむことができます。

**■ 「デュアルピクセル CMOS AF II」による快適な AF 性能**

新 CMOS センサーの高速信号読み出しと新映像エンジンの高速処理により、「デュアルピクセル CMOS AF II」として AF 性能が向上しています。測距エリアが画面の最大約 100% (縦) × 約 100% (横) の範囲<sup>※4</sup>に拡大しています。また、静止画撮影時に AF フレームは、最大 1053 分割<sup>※5</sup>のエリアから自動選択されます。さらに、人物の瞳・顔・頭部に加えて、動物(犬/猫/鳥)の瞳・顔・全身検出<sup>※6</sup>にも対応し、被写体の捕捉率を向上しています。

**■ 世界最高<sup>※7</sup>8.0 段<sup>※8</sup>の手ブレ補正により撮影領域が拡大**

EOS シリーズで初めて、ボディ内に 5 軸手ブレ補正機構を搭載しています。レンズ側の光学式手ブレ補正機構と協調制御し、世界最高 8.0 段の手ブレ補正を実現しています。望遠撮影や手持ち撮影といった手ブレの発生しやすい環境でも快適に撮影することができます。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS R6	オープン価格	2020年8月下旬

※1 総画素数約 2140 万画素。  
 ※2 動作条件は、2 ページ 1.の※1、※2に記載。  
 ※3 4K UHD (59.94fps/50.00fps)。  
 ※4 動作条件は、2 ページ 2.の※1に記載。  
 ※5 顔+追尾優先 AF かつ被写体非検出時。  
 ※6 被写体によっては動物検出できないことがあります。また、犬/猫/鳥以外の被写体に対して動物検出する場合もあります。  
 ※7 2020年7月8日現在発売済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて。キヤノン調べ。「EOS R5」も同じ。  
 ※8 CIPA 規格に準拠。「RF24-105mm F4 L IS USM」(2018年10月発売)、焦点距離 105mm 時。レンズは、購入時期によりファームウェアの更新が必要。

## <主な特長>

### 1. フラッグシップモデルを基にした CMOS センサーと新映像エンジンによる高性能

- ・「EOS-1D X Mark III」搭載のセンサーを基にカスタマイズした有効画素数約 2100 万画素のフルサイズ CMOS センサーを搭載。CMOS センサーの高速信号読み出しと新映像エンジン「DIGIC X」の高速処理、高性能な「RF レンズ」により、高画質と高速連写を両立。
- ・電子シャッター撮影時は、AF/AE 追従で最高約 20 コマ/秒<sup>※1</sup>の高速連写を実現。野生動物との対峙やゴルフの試合会場などのシーンにおいてシャッター音を気にせず撮影が可能。
- ・メカシャッター／電子先幕撮影時は、最高約 12 コマ/秒<sup>※2</sup>の高速連写を実現。
- ・CMOS センサーによるノイズの低減と映像エンジンによるノイズリダクション性能の向上により、静止画撮影時は、最高 102400 の常用 ISO 感度を実現。
- ・人間の視覚特性に基づく「HDR PQ」方式での静止画／動画記録に対応。RAW 現像ソフトウェアで行っていた HEIF (10bit) 記録をカメラ内で実現。
- ・RAW 現像時のオートライティング最適化機能へ、新たに「顔ライティング補正」を追加。顔のコントラストが高いときに、自動的に顔の明るさを補正することが可能。
- ・レンズの収差などを補正する「デジタルレンズ最適化」に「強め」を追加。

※1 EF-S レンズ使用時を除く。絞り開放時。詳しくはキヤノン公式 HP をご参照ください。シャッタースピード、絞り、連続撮影中の絞りの状態、被写体条件、明るさ（暗所での撮影時など）、あるいはレンズの種類などによって連続撮影速度が変化します。

※2 「RF レンズ」及び一部の EF レンズ使用時。詳しくはキヤノン公式 HP をご参照ください。連続撮影速度は、バッテリーの種類／残量、バッテリーグリップの使用有無・バッテリー数、DC カプラー／USB 電源アダプターの使用有無、使用レンズ、温度、内蔵 Wi-Fi の ON/OFF などにより、最大 3 段階に変化します。最高連続撮影速度は、前記要因の他に、シャッタースピード、絞り、ストロボ使用、フリッカー低減処理、被写体条件、明るさ（暗所での撮影時など）などにより低下することがあります。

### 2. 「デュアルピクセル CMOS AF II」による快適な AF 性能

- ・新 CMOS センサーの高速信号読み出しと新映像エンジンの高速処理により、「デュアルピクセル CMOS AF II」として AF 性能が向上。「顔＋追尾優先 AF」設定時の測距エリアは、画面の最大約 100%（縦）×最大約 100%（横）の範囲へ拡大<sup>※1</sup>。さらに静止画撮影時には、AF フレームは、最大 1053 分割<sup>※2</sup>のエリアから自動で選択。



最大 1053 分割のエリアイメージ

- ・人物の瞳・顔・頭部検出に対応。「EOS R」(2018 年 10 月発売)と比較して、より小さな瞳や横顔の検出性能が向上。さらに、動物（犬／猫／鳥）の瞳・顔・全身検出に対応し、被写体の捕捉率を向上。
- ・EOS シリーズで初めて<sup>※3</sup>、EV-6.5 の低輝度合焦限界<sup>※4</sup>を達成。肉眼では被写体の視認が難しい暗い環境下でも高精度なピント合わせを実現。
- ・「デュアルピクセル CMOS AF II」と「RF レンズ」の駆動制御の最適化により、最高約 0.05 秒<sup>※5</sup>の高速 AF を実現。



猫の瞳検出

- ・「EOS-1D X Mark III」に搭載した AF アルゴリズムを採用。シーンに合わせて「被写体追従特性」、「速度変化に対する追従性」があらかじめ初期設定された「Case1～4」と、被写体に合わせて自動で設定が切り替わる「Case A (Auto)」により快適な撮影を実現。

※1 「顔＋追尾優先 AF」、かつ、「RF レンズ」（「RF600mm F11 IS STM」／「RF800mm F11 IS STM」および「エクステンダー RF1.4×」／「エクステンダー RF2×」を除く）、EF レンズ（一部を除く現行製品）、エクステンダー EF (III) 使用時（マスターレンズのモードに準じる）に被写体枠が表示された場合。シーンや被写体の状況によって対応できない場合があります。対象レンズはキヤノン公式ホームページをご参照ください。

※2 「顔＋追尾優先 AF」かつ被写体非検出時。

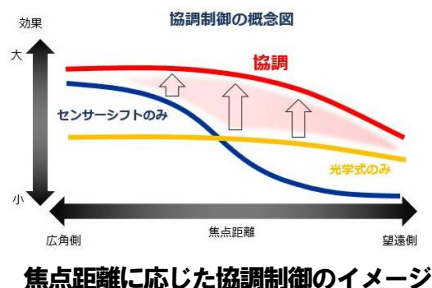
※3 2020 年 7 月 9 日現在発売済みのキヤノン製レンズ交換式デジタルカメラにおいて。

※4 キヤノン試験基準による。静止画撮影時・F1.2 レンズ使用時・中央測距点・ワンショット AF・常温・ISO100・Defocus Smoothing コーティングを採用した「RF レンズ」を除く。

※5 CIPA ガイドラインに準拠して測定した AF 時間の結果から算出（撮影条件や使用レンズにより異なる）内部測定方法。  
[測定条件] 測距輝度：EV12（常温・ISO100）、撮影モード：M、「RF24-105mm F4L IS USM」使用、焦点距離 24mm 位置、シャッターボタン操作による静止画撮影時、AF 方式：1 点 AF（中央）、AF 動作：ワンショット AF 時。

### 3. 世界最高 8.0 段の手ブレ補正により撮影領域が拡大

- EOS シリーズで初めて、手ブレに連動して撮像素子を動かす補正機構をボディ内に採用。水平回転軸／縦回転軸／回転軸／左右／上下の 5 軸でのボディ内手ブレ補正を実現。手ブレ補正機構が搭載されていないレンズでも、カメラとレンズの組み合わせに応じて広角から望遠まで快適な撮影が可能。
- レンズ側の光学式手ブレ補正機構と、ボディ内の手ブレ補正機構の協調制御<sup>※1</sup>により、世界最高 8.0 段の手ブレ補正を実現。望遠撮影や手持ち撮影といった手ブレの発生しやすい撮影環境でも快適な撮影が可能。
- 動画撮影時には、ボディ内とレンズ内の手ブレ補正機構の協調制御に加え、動画電子 IS<sup>※2</sup> の併用も可能。



※1 「RF600mm F11 IS STM」／「RF800mm F11 IS STM」は非対応。「EOS R5」／「EOS R6」より前に発売された「RF レンズ」で協調補正を行うには、レンズのファームアップが必要な場合があります。

※2 動画電子 IS 使用時は撮影範囲が狭くなります。

### 4. 高精細で階調性に優れた動画性能

- クロップ（切り出し）なしのオーバーサンプリング<sup>※1</sup>による 4K/60P 動画<sup>※2</sup>を実現し、画質劣化の原因となるモアレやノイズを低減した繊細な映像表現が可能。
- フル HD/120P のハイフレームレート動画<sup>※3</sup>による滑らかな映像表現を実現。
- 4K/フル HD 撮影において、「デュアルピクセル CMOS AF II」による滑らかな AF が可能。
- 映像制作機器「CINEMA EOS SYSTEM」で実績のあるキヤノン独自の Log ガンマ「Canon Log」を搭載。暗部のつぶれやハイライトの白トビを緩やかに抑えることで、撮影後の編集や加工作業の自由度が高い映像記録が可能。

※1 記録画素よりも大きなデータから、記録映像を生成する手法。

※2 4K UHD (59.94fps/50.00fps)。

※3 フル HD (119.88fps/100.00fps)。

### 5. 幅広いシーンにおける快適な撮影をサポートする通信性能や操作性

- スマホなどの携帯端末への Wi-Fi/Bluetooth<sup>®</sup>による接続に対応<sup>※1</sup>。
- カメラから「image.canon」への画像自動転送機能を搭載<sup>※2</sup>。「image.canon」を経由して、「Google Photos<sup>※3</sup>」や「Adobe Creative Cloud」(メンバーシッププラン)へ静止画を自動転送可能。
- シャッター耐久 30 万回を達成したシャッターユニットを搭載。電源オフ時のシャッター幕の開閉を選択可能。
- 防じん・防滴構造<sup>※4</sup>を採用し、水滴や砂じんのカメラ内部への侵入を抑制。さらに、外装には軽量かつ高剛性のポリカーボネート樹脂を採用し、信頼性と機動性を両立。
- 約 369 万ドットの有機 EL パネルを採用した視野率約 100% の高精細な電子ビューファインダー (EVF) を内蔵。表示フレームレートを「119.88fps (なめらかさ優先)」に設定することで、動体の追いかげやすさが向上。
- SD メモリーカード (UHS-II 対応) のデュアルスロットを搭載。
- 直感的な AF フレーム選択操作が可能なマルチコントローラーを搭載。

※1 Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/Android™:Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができないものがあります。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。

※2 自動転送には、事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続していることが必要。

※3 クラウドストレージサービス「Google One」(メンバーシッププラン)を介した「Google Photos」との連携。

※4 防じん・防滴性能を発揮させるため、電池室やカードスロットカバー、端子カバーなどの開閉部をしっかりと閉じる必要があります。カメラは防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

### <商品構成（キット内容）>

名称	内容
EOS R6・ボディ	EOS R6
EOS R6・RF24-105 IS STM レンズキット	EOS R6 RF24-105mm F4-7.1 IS STM

### <レンズ交換式カメラの市場動向>

2019年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約880万台となりました。  
(キヤノン調べ)

### <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- \* Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- \* Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- \* IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- \* Android、Google Photos、Google One は Google LLC の商標です。
- \* Adobe、Creative Cloud はそれぞれ、アメリカ合衆国およびその他の国々における Adobe (アドビ社) の商標または登録商標です。
- \* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。